

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014 年 1 月 30 日



所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部		
留学先国	台湾		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學		
留学期間	2013 年 9 月～2014 年 1 月		
留学した時の学年	4 年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	4 年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。		
帰国年月日	2014 年 1 月 14 日		
明治大学卒業予定年	2014 年 3 月		
<b>留 学 先 大 学 に つ い て</b>			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期: 9 月～1 月 2 学期: 2 月～6 月		
学生数	約 3 万人		
創立年	1928 年		
特徴	台湾の最高学府であり、学術レベル・生徒数ともに台湾随一である。		
留学費用項目	現地通貨(元)	円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	37,000	111,000 円	一人部屋月 7400 元
食費	30,000	90,000 円	
図書費	0	0 円	
学用品費	5,000	15,000 円	
教養娯楽費	2,000	6,000 円	図書購入代等
被服費	6,000	18,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	日本国内にて加入	42,000 円	形態: 日本国内にて加入したもののみ
渡航旅費	日本国内にて購入	40,000 円	FIX/OPEN タイプのもの
雑費	1,000	3,000 円	
その他	10,000	30,000 円	台湾国内旅行代として
その他	850	2510 円	水道・光熱費として
合計	119170	357510 円	一元=3 円として計算

<b>渡航関連</b>	
<b>渡航経路:</b> 台北-成田 SCOOT	
<b>渡航費用</b>	
チケットの種類	エコノミー
往路	20,000 円
復路	20,000 円
合計	40,000 円
<b>渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。</b>	
インターネットや現地の友人の意見を聞くことで情報を得ていました。	
<b>取得したビザについて教えてください。</b>	
ビザの種類: VISITOR	
<b>ビザ取得方法:</b> 駐日台北経済文化代表処にて申請・取得	
<b>その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。</b>	
ビザ申請時、帰国便の情報については問われませんでした。來台時桃園空港着に限り、空港から宿舍まで無料送迎バスがあり便利です。	
<b>滞在形態関連</b>	
<b>1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)</b>	
BOT 太子宿舍	
<b>2)部屋の形態</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 )	
<b>3)住居を探した方法:</b>	
留学決定後、大学よりメールにて案内有。希望する部屋のタイプなど、すべてオンラインで申請します。個人でアパートを探す留学生も居ますが、少数派です。	
<b>4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>	
BOT は築 3 年の新しく比較的きれいな寮で、MRT・大学ともに徒歩五分の好立地です。日本人の居住者が多いです。優先のインターネットが各部屋に敷かれています。	
<b>現地情報</b>	
<b>1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？</b>	
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 顔と上半身に発疹ができ、5 回ほど受診	
<b>2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。</b>	
特に問題なし。独立した相談窓口はないと思われるが、事務室に交換留学生の担当者はあり。	
<b>3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？</b>	
問題なし。治安に関しては十分安全との情報を得ていたが、スリ・置き引きには日ごろから注意していました。	
<b>4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。</b> (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
台大 wifi:大学構内、寮コピー TPE-Freewifi:公共交通機関、観光地、大きな道路(気づいたときに繋がって油断していると切れる)	
<b>5)現地での資金調達はどうに行いましたか？(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</b>	
クレジットカードの海外キャッシングサービスを利用。一学期の在台のため ARC を所得しなかったため、口座は開設せず。	
<b>6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。</b>	
日本らしいおみやげです！台湾の人は大変フレンドリーで(初対面なのに家に泊めてくれる等はザラです)留学へ行けば必ずお世話になると思います。更に他国の留学生と交流する際にも日本のものは喜ばれます。出発時におみやげを色々持って行くと、きっと現地での交流の手助けをしてくれると思います。	

## 進路について

1) 進路	
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
学部での勉強と留学中の様々な体験を通して決めました。	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
未定	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
現地で教授とコンタクトをとる	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	
<b>学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)</b>	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
1 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません (理由:卒業要件単位を取得できているため)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chinese Enhancing Course (I)	実用中国語 1
科目設置学部・研究科	学部なし
履修期間	一学期
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Mina FAN
授業内容	中国語学習者を対象とした授業
試験・課題など	プレゼン、グループワーク
感想を自由記入	アットホームで、出席管理等もいいかげんだったように思う。

留学に関するタイムチャート
---------------

**留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。**  
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	台湾留学決意
4月～7月	中国語学習
8月～9月	協定校留学について情報収集
10月～12月	10月:協定校留学申請資料作成開始 11月:学習計画書作成 12月:HSK5級取得
2013年 1月～3月	留学に向けて資金作り
4月～7月	4月:台湾大学から送られてくる留学に関わる諸々をオンライン申請 5月:手続きの見通しをたてる 6月:HSK6級取得、航空券取得 7月:ビザ、保険等手配に追われる
8月～9月	8月:一か月タイに行く(オンラインで履修登録が始まっていました)
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	将来留学生支援に関わりたいという希望から、まずは自分が留学生にならねばと思ったためです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学前の気持ちや留学の意気込みを何かに書いておくといいと思います。留学先では様々な価値観がクロスしており、大げさなようですが、自分とは何かを考え、悩むことも度々です。日本にいるうちに、その国で何を学びたいかをしっかり考えておく、留学先での生活がより刺激的になることと思います。帰国時には当初予想できなかったこともあると思いますし、振り返ったときに楽しいと思います。
この留学先を選んだ理由	台湾は日本語教育が大変盛んであり、また日本で台湾人の友人と良い関係を築いていたため、行くなら台湾、中でも歴史ある台湾大学でと思っていました。
大学・学生の雰囲気	非常に国際的で、キャンパスを歩くと色々な国の学生に出会います。椰子の木がずらりとならぶキャンパスは美しく圧巻です。
寮の雰囲気	寮では頻繁に学生が交流できる活動がありました。料理作りから旅行、言語交換まで、個人の趣味に合わせて参加できる活動が多く用意されていました。
交友関係	台湾人の友達ネットワークはあっという間に広がっていきます。友達の友達はもちろん友達ですし、友達がよく知らない誰かも友達です。友達といえばもう友達でした。開放的で面白い交友関係が築け、皆とても親切でした。
学習内容・勉強について	どの授業でもプレゼンの比率が日本に比べて格段に多かったです。ちなみに私は授業開始前での履修登録で失敗をしてしまい、結局多くの授業を聴講という形で参加することになってしまいました。しかし聴講でも先生は快く迎え入れてくれ、プレゼンにも参加しました。
課題・試験について	課題量は様々です。日本でプレゼンの経験が乏しかった私は、プレゼン準備に大変時間を割かれました。プレゼンは本番になって言葉が出てこなかったり、悔しい思いをすることもありましたが、おかげで度胸がついたと思います。
大学外の活動について	図書館で勉強したり、大学のジムやプールで汗を流したり、大学施設を最大限活用していました。日が暮れると夜市へ繰り出し、食べ物や服を調達しました。
ある平日のスケジュール	8時:起床 10時～13時:予習 13時～14時:昼食 14時～15時:授業 15時～18時:自由時間 18時～21時半:授業 0時就寝
ある休日のスケジュール	7時:起床 8時～9時:豆乳屋で朝食 9時～14時:友人のサッカーサークルの試合応援 15時～19時:カフェで読書 20時～23時:夜市で食い倒れて知らぬ間に就寝
留学を志す人へ	留学先の歴史を学ぶことは不可欠です。無知から生じた思わぬ一言が相手のアイデンティティを傷つける恐れがあります。留学先の国のことのみに関わらず、いずれの人種・宗教・思想に関わるような発言に関しては大変慎重になる必要があります。一人の外国人として、その国の良いところを学びに来たのだという謙虚さを常に忘れないようにすべきだと思います。